TEAC®

STEREO DOUBLE REVERSE CASSETTE DECK

W-990RX

5700095600

■ 取扱説明書

このたびは TEAC W-990RX ステレオ・ダブル・リバース・カセットデッキをお買い上げいただきまして，誠にありがとうございます．

ご使用になる前に，この取扱説明書をよくお読みいただき，正しくお使いください．

お読みになったあとは，保証書などと一緒に大切に保管してください．

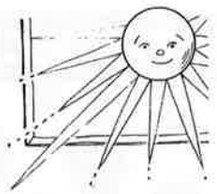
目次

ご使用の前に…… 2
接続…… 3
各部の名称と機能・操作説明……4〜5
再生……6〜9
録音……10〜13
　通常の録音，消去，録音ミューティング
　同時録音，コンティニアス録音
　CDチェックについて
ダビング……14〜18
タイマー録音・再生……19
リモコン(RC-306)について……20
おや！故障かな……21
簡単なお手入れ……22
仕様……23
アフターサービスについて……23

ご使用の前に

■設置/使用上のご注意

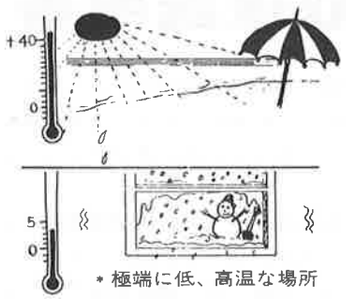
つぎのような場所への設置，取扱いに注意



＊直射日光の当る場所

＊内部に手を触れない

＊ストーブの近く



＊極端に低、高温な場所

＊振動やホコリの多い，不安定な場所

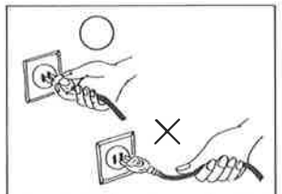
＊ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています．

＊ドルビー，DOLBY 及びダブルD記号 ◫◫ はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です．

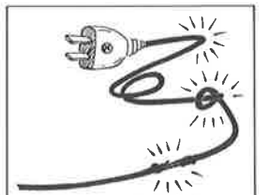
＊dbx および dbx マークは dbx インコーポレーテッドの登録商標です．

＊dbx システムは dbx インコーポレーテッドの実施権に基づいて製造されています．

深夜の音楽鑑賞は，隣近所の迷惑にならないように，音量を下げるかヘッドホンを使用してお楽しみください．

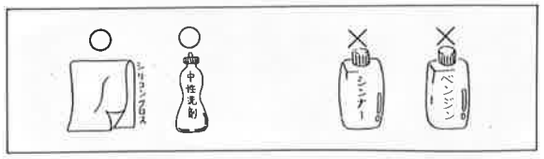


コードを持って引っぱらない



電源コードは大切に

●パネルおよびケースなどの清掃はシリコンクロスなどの柔かい布を使用し，汚れがひどい場合には水で薄めた中性洗剤液を含ませて軽く拭いてください．シンナーやベンジンなどの溶剤は，文字を消してしまうことがありますので使用しないでください．



●本機に水などの液体や可燃物またはピンなどの金属類を入れないように注意してください．万一，このようなことが起こった場合は，大変危険ですのですぐに電源コンセントからプラグを抜いて，もよりの当社営業所，サービス・センターまたはサービス1課にご連絡ください．

接続

ステレオ・アンプとの接続

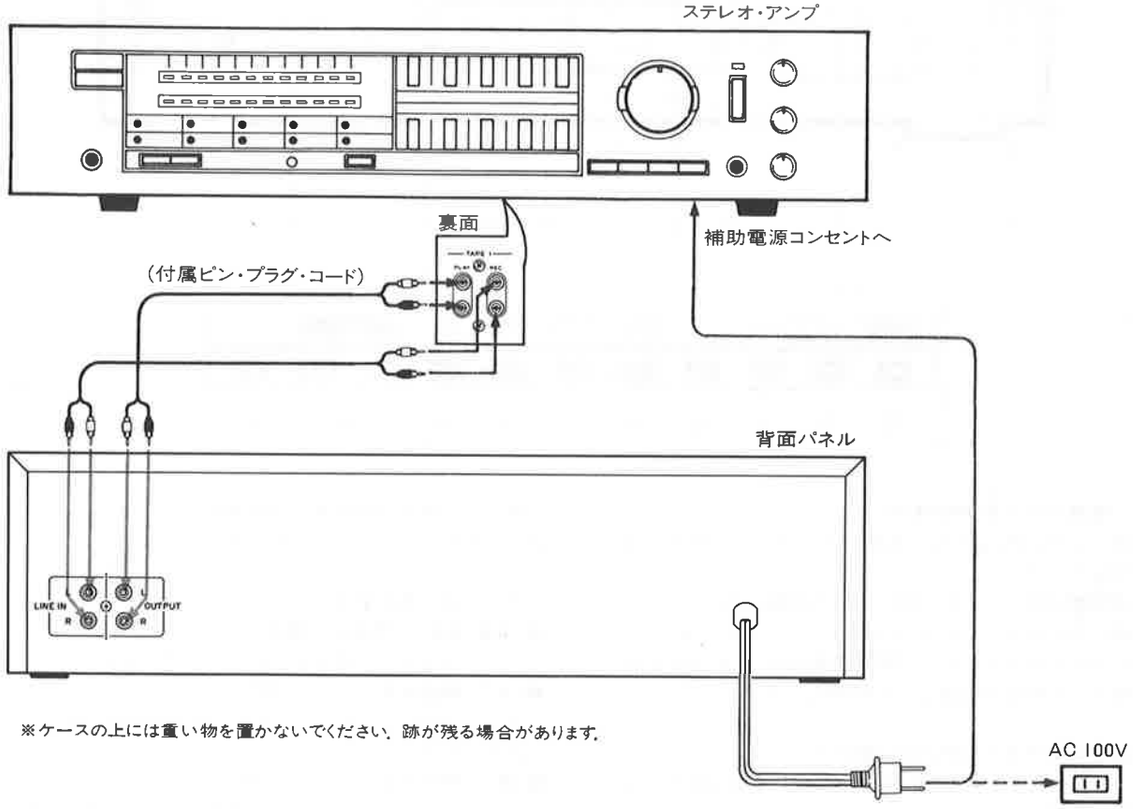
●接続するステレオ・アンプの取扱説明書をよくお読みの上，必ずステレオ・アンプの電源を切ってから接続してください．

●ピン・プラグ・コード(付属の入出力コード)は，〔L〕(左チャンネル)を白，〔R〕(右チャンネル)を赤と決めて接続すると，チャンネルをまちがえる心配がありません．

電源の接続

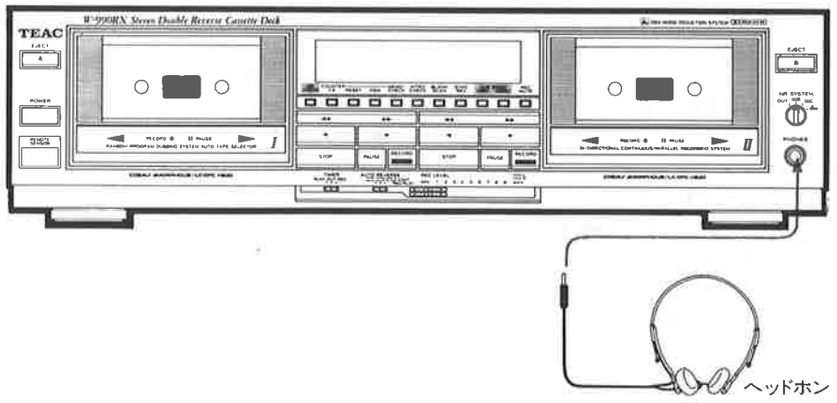
●必ずAC(交流)100Vの電源コンセントに接続してください．

●ステレオ・アンプには，ステレオ・アンプの電源スイッチに連動して電源が入切する補助電源コンセントを備えているものがあります．もし備えている場合には，本機の電源をそこからとって利用すると便利です．

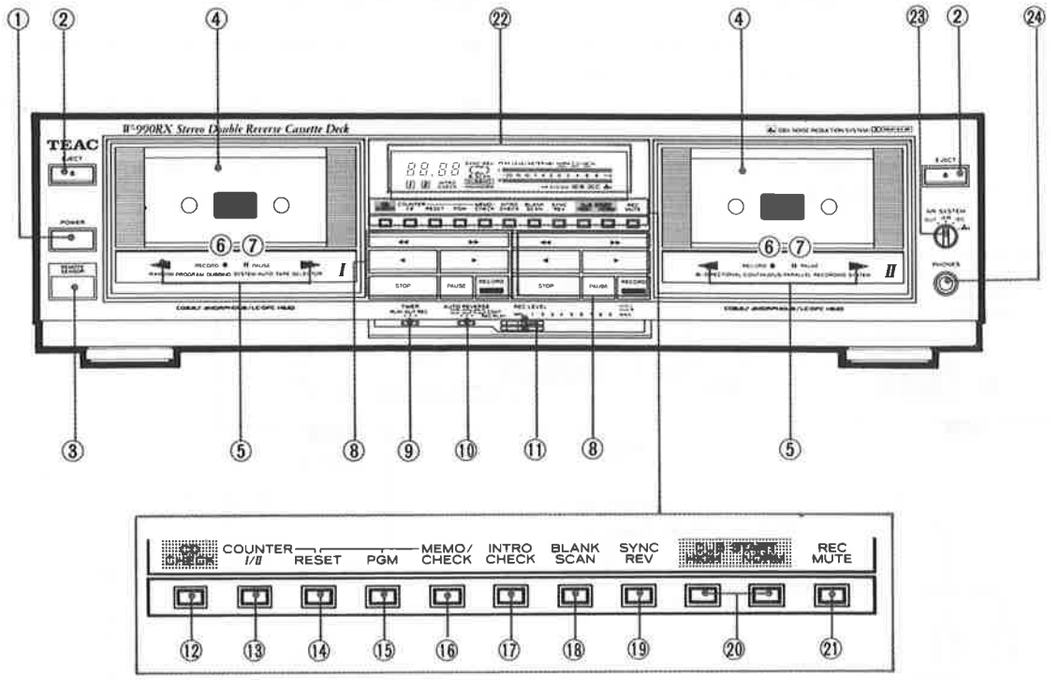


※ケースの上には重い物を置かないでください．跡が残る場合があります．

ヘッドホンの接続



各部の名称と機能・操作説明



①電源スイッチ〔POWER〕
押してON(⎓)にすると電源が入り,もう一度押すとOFFになります.
〔POWER〕スイッチのON−OFFを極端に早いスピードで繰り返しますとマイコンの初期化(イニシャライズ)が正しく行われませんので,〔POWER〕スイッチのOFF後は必ず，2秒以上経過してからONしてください.

②イジェクト・ボタン〔EJECT〕
カセットホルダーを開けるときに押します.(録音，再生中は押せません)

③リモコン受光窓〔REMOTE SENSOR〕
リモコン(付属RC-306)からの操作指令を受けます.

④カセットホルダー
録音，再生するカセットを装着します.

⑤ディレクション・ランプ
録音，再生されるカセットの面を示します．フォワード走行時に「►」側，リバース走行時は「◄」側がそれぞれ点灯します.(停止，早送り中は点滅)

⑥録音インジケーター〔RECORD〕
録音モードで点灯し，録音ミューティング中は点滅します.

⑦ポーズ・インジケーター〔PAUSE〕
録音／再生の一時停止で点灯します.

⑧テープ走行操作ボタン
●〔◄◄ ►►〕：**早送り／巻戻しボタン**
テープを早送り，巻戻しするときに押します.
●〔◄〕：**再生ボタン(リバース)**
リバース(逆方向)再生してカセットの反対面(B面)が再生されます.
●〔►〕：**再生ボタン(フォワード)**
フォワード(正方向)再生してカセットの手前面(A面)が再生されます.
●〔STOP〕：**ストップ・ボタン**
テープ走行を止めます.
●〔PAUSE〕：**ポーズ・ボタン**
録音または再生の一時停止をします．もう一度押すと一時停止が解除されます.
●〔RECORD〕：**レコード・ボタン**
押すと録音になります.

＊デッキⅠ，Ⅱどちらも同じ操作になります.
＊録音，早送り／巻戻しはデッキⅠ，Ⅱの両方同時に操作することができます.

⑨タイマー・スイッチ〔TIMER〕
タイマー録音・再生する場合に使用します．通常の使用時は“OUT”にしてください.(📖19ページ)

⑩オート・リバース切換スイッチ〔AUTO REVERSE〕
テープ走行モードが切り換わります.
●「⇀」：録音，再生が片面で止まります.
●「⇄」：往復の録音，再生になります.(リバース録音／再生で停止)
●「⇄ CONT」：連続再生になります(最高5往復).録音は「⇄」と同じ動作になります.
また，デッキⅠ，Ⅱの両方へカセットを入れると“コンティニアス録音・再生”になります.(📖9,13ページ)

⑪録音レベル調整つまみ〔REC LEVEL〕
〔L〕(左)，〔R〕(右)チャンネルそれぞれの録音レベルが調整できます.(デッキⅠ，Ⅱ共通)

⑫〔CD CHECK〕ボタン
CDチェックを行うときに押します.(📖13ページ)

⑬〔COUNTER I/II〕ボタン
デッキⅠ，Ⅱへ合わせてテープカウンター表示が切り換わります.

⑭〔RESET〕ボタン
カウンター部に表示される各モードを取り消します．また，テープカウンターを“0000”にします.

⑮〔PGM〕ボタン
プログラム演奏，CPS，CDS各モードの“曲番”を入力します．押すたびに1つずつ，押し続けると連続してカウントします.

⑯〔MEMO／CHECK〕ボタン
曲番のメモリーおよび確認ができます．押すたびに1つずつ，押し続けると連続してカウントします.

⑰〔INTRO CHECK〕ボタン
イントロチェックを始めるときに押します.(📖7ページ)

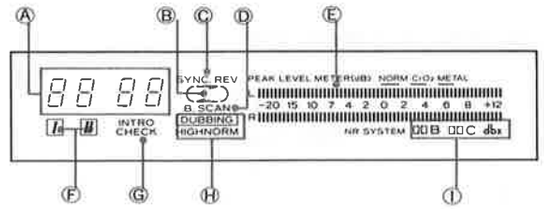
⑱〔BLANK SCAN〕ボタン
押すとブランクスキャンがONになり，もう一度押すとOFFになります.(📖7ページ)

⑲〔SYNC REV〕ボタン
押すとシンクロリバース・ダビングがONになり,もう一度押すとOFFになります.(📖15ページ)

⑳〔DUB START〕ボタン
ダビング開始ボタンです.「HIGH」:倍速ダビング,「NORM」:定速ダビングがそれぞれ始まります.(📖14ページ)

㉑〔REC MUTE〕ボタン
録音ミューティングをするときに押します.
(📖12ページ)

㉒表示窓



Ⓐ**カウンター部**
通常はテープカウンターとして働き，プログラム／CPS CDSでの曲番やCDチェック等の表示も行います.
Ⓑ(⇄)
〔AUTO REVERSE〕スイッチで選択されたモードを表示します.
Ⓒ**SYNC. REV**
〔SYNC REV〕ボタンを押してONにすると点灯します.
Ⓓ**B. SCAN**
〔BLANK SCAN〕ボタンを押してONにすると点灯します.
Ⓔ**ピークレベルメーター**
録音，再生時の信号レベルをピーク値で表示します.
Ⓕ[I] [II]
テープカウンターが表示するデッキ(Ⅰ,Ⅱ)を示します.
〔COUNTER Ⅰ／Ⅱ〕ボタンにも連動します.
Ⓖ**INTRO CHECK**
〔INTRO CHECK〕ボタンを押してONにすると点灯します.
Ⓗ**DUBBING-HIGH NORM**
倍速ダビング時は「DUBBING HIGH」.定速ダビング時は「DUBBING NORM」がそれぞれ点灯します.
Ⓘ DOLBY B DOLBY C dbx
〔NR SYSTEM〕スイッチで選択されたNRシステムを表示します.

㉓NRシステム切換スイッチ〔NR SYSTEM〕
本機に内蔵された各NRシステムを選ぶことができます.〔DOLBY B〕：ドルビーB・NRシステム.〔DOLBY C〕：ドルビーC・NRシステム.〔dbx〕：dbx・NRシステム.〔OUT〕：NRシステムが働きません.

㉔ヘッドホン端子〔PHONES〕
ヘッドホンのプラグを接続します.(出力レベル固定)

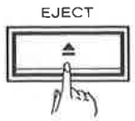
再生

■通常の再生

●デッキⅠ，Ⅱどちらでも同じ操作ができます．

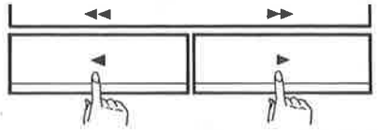
1 〔POWER〕スイッチを押して電源を入れます

2 カセットを装着します



開いたカセット・ホルダーにカセットを入れ，きちんと閉めます．

3 再生ボタンを押します

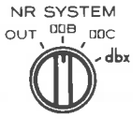


カセットのB面から始めるとき（リバース再生）　カセットのA面から始めるとき（フォワード再生）

再生を止めるときは〔STOP〕ボタンを押します．

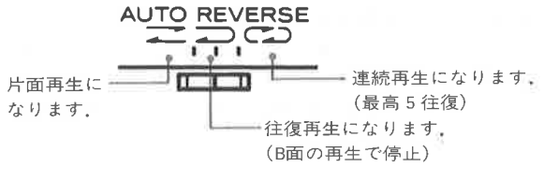
NRシステムを使って録音されたカセットを再生する場合は——

〔NR SYSTEM〕スイッチを録音時と同じ位置にします．



テープの走行モードを選んで再生する場合は——

〔AUTO REVERSE〕スイッチを切り換えます．



本書では，カセットは“A面”を手前に向けてカセットホルダーに装着して説明します．

■好きな曲をあらかじめ選んで再生するには ——プログラム演奏——

19曲目までの曲を最高19曲まで，聞きたい曲を聞きたい順に再生することができます．

●デッキⅠ，Ⅱどちらでも同じ操作ができます．

●〔AUTO REVERSE〕スイッチを“⇄”にします．

1 希望する曲を演奏させたい順にプログラムします（曲番がわかっている場合）

表示窓

① MEMO/CHECK 押す　→ 1 8

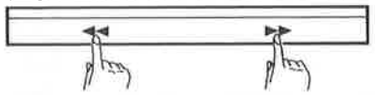
② PGM 押す又は押し続ける　→ 1 2（曲順（演奏順）／曲番（希望曲））

③ MEMO/CHECK 押す（必ず押す）　→ 2. 8

④ ②と③を繰り返すことによって曲が順次メモリーされます．

＊プログラムはカセットがなくても操作できます．

2 早送り/巻戻しボタンを押します．



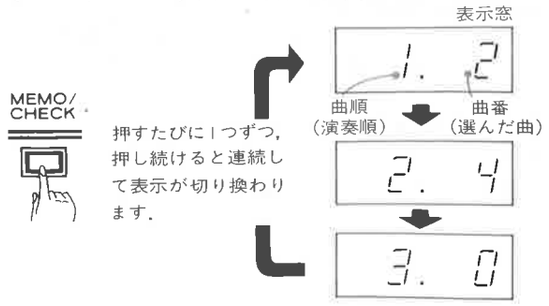
選曲をカセットのA面から行った場合　選曲をカセットのB面から行った場合

テープを端まで巻き取ると，A面またはB面から“曲順1”をサーチして再生が始まります．

＊プログラム演奏中にテープ走行操作ボタンを押すとそのモードに切り換わります．

曲番と演奏順を確認する場合は——

〔MEMO/CHECK〕ボタンを押します．



曲を変更/削除/取消する場合は——

変更／削除はプログラム演奏を始める前（前記操作2の前）に行うことができます．

●変更

〔MEMO/CHECK〕ボタンを押して変更したい“曲順・曲番”にし，〔PGM〕ボタンで新しい曲番にして〔MEMO/CHECK〕ボタンを押します．

●削除

“変更”と同様に操作し，〔PGM〕ボタンで“0”を表示させて〔MEMO/CHECK〕ボタンを押します．

●取消

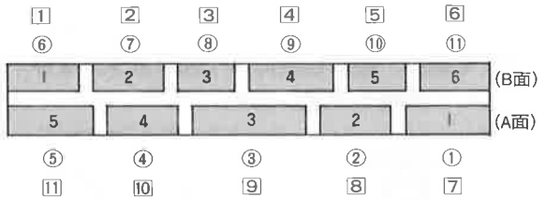
〔RESET〕ボタンを押すと選んだ曲すべてが取り消されます．

プログラム演奏を止めるには——

〔STOP〕ボタンまたは〔RESET〕ボタンを押します．演奏が止まり，選んだ曲もすべて取り消されます．

曲番の数えかた——

曲番はカセットのA面／B面どちらからでも数えることができます．



●A面から数える場合

①，②……の曲番となり，B面の曲（例3）は曲番“8”になります．

●B面から数える場合

1，2……の曲番となり，A面の曲（例3）は曲番“9”になります．

＊テープの終端などでA面とB面が同じ曲で続いている場合でも，曲番を数える際はそれぞれ別になります．（⑤と⑥，6と7など）

■ブランクは飛ばして再生するには ——ブランクスキャン——

〔BLANK SCAN〕ボタンを押してONにします．

（表示窓にB. SCAN点灯）

再生中に約10秒以上のブランク（無信号部分）があるとテープは自動的に飛び越しを行い，次の曲の始めで再び再生を始めます．

＊曲の頭に4秒以上のブランクがなかったり，ブランク中に大きな雑音が入っている場合は，次の曲として検出されないことがあります．

＊曲中にピアニシモのような低いレベルが長く入っていると，曲の途中から再生を始めたり飛び越しをすることがあります．

■曲名等をチェックするには ——イントロチェック——

〔INTRO CHECK〕ボタンを押します．

ディレクション・ランプの方向へテープが走り出し，各曲を15秒間ずつ再生をします．

イントロチェックされるカセット面		
(AUTO REVERSE) ＼ ディレクション・ランプ	▶	◀
⇄	A面のみ	B面のみ
⇉	A面→B面	B面のみ
↻	A面→B面→A面	B面→A面→B面

＊デッキⅠが優先し，デッキⅡが再生中かデッキⅡのみにカセットが入っている場合はデッキⅡが働きます．

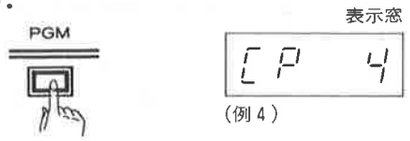
＊テープ走行操作ボタンを押すとそのボタンのモードに切り換わります．

■前/後へ飛んで，再生するには —CPS※—

●デッキⅠ，Ⅱどちらでも同じ操作ができます．
●録音モード中以外はCPS操作ができます．

今聞いている曲から前後へ最高19曲目まで飛び越して再生を始めます．

1 〔PGM〕ボタンを押して曲番を指定します．



2 〔◀◀ ▶▶〕ボタンを押します．

元へ戻る場合　　先へ進む場合

＊B面を再生しているときはこの逆になります．

曲番の数えかた

例／12曲目頭出し
A面の4曲目の途中にB面4曲目を聴きたいときは，CPSを12カウントして12曲目の頭を出す．

先へ進めるときは今聞いている次の曲から数をかぞえ，元へ戻るときは今聞いている曲も数にかぞえます．曲間から操作する場合，先へ進むときは次の曲，元へ戻るときは今聞いた曲を数にかぞえます．

〔◀◀ ▶▶〕ボタン ＼ 〔AUTO REVERSE〕テープセレクション		曲をサーチするまでのカセット面		
		⇄	⇉	↻
▶▶	▶	A面のみ	A面→B面	A面→B面→A面
	◀	B面のみ	B面→A面	B面→A面→B面
◀◀	▶	A面のみ	A面のみ	A面→B面→A面
	◀	B面のみ	B面のみ	B面→A面→B面

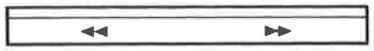
※CPS：Computomatic（コンピュートマチック） Program（プログラム） Search（サーチ）の略

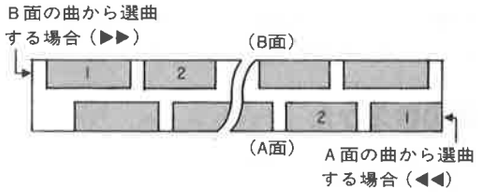
■カセットの頭から選曲して再生するには —CDS※—

●デッキⅠ，Ⅱどちらでも同じ操作ができます．

CPSでは“前後の曲”をサーチさせますが，CDSでは，カセットのA面またはB面の最初からサーチして再生を始めます．

1 〔◀◀ ▶▶〕ボタンを押します．





2 早送り／巻戻し中に〔PGM〕ボタンを押して曲番を指定します．

〔◀◀ ▶▶〕ボタンの「▶▶」側が押されている場合はB面の2曲目，「◀◀」側はA面の2曲目が選曲され再生を続けます．

〔◀◀ ▶▶〕ボタン ＼ 〔AUTO REVERSE〕テープセレクション	曲をサーチするまでのカセット面		
	⇄	⇉	↻
▶▶	B面のみ	B面のみ	B面→A面→B面
◀◀	A面のみ	A面→B面	A面→B面→A面

※CDS：Comutomatic（コンピュートマチック） Direct（ダイレクト） Selection（セレクション）の略

■デッキⅠ，Ⅱを続けて再生するには —コンティニアス再生—

●デッキⅠ，Ⅱの両方へカセットを装着します．

1 〔AUTO REVERSE〕スイッチを“⇄”位置にします

2 再生を始めたいデッキ側の再生ボタンを押します

再生ボタン ＼ デッキ Ⅰ，Ⅱ	再生の順序 ボタンを押した側デッキ	もう一方のデッキ
▶	A面→B面→A面→B面	
◀	B面→A面→B面 A面←	

＊最高5往復ずつ再生が行われます．

再生を止めるには

今動作しているデッキの〔STOP〕ボタンを押します．

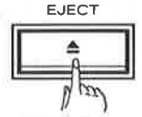
ご注意

カセットの一部にはA面の最後に“黒色の縦稿”が入ったリーダーテープを付けているものがあります．これらのカセットは本機のクイック・リバースが正しく動作しないことがありますので，コンティニアス録音・再生およびプログラム・ダビングの際は，カセットのA面を必ず手前にしてご使用ください．（カセットのB面を手前にした場合は，リーダーテープ部を送って待機させてください．）

■再生中，もう一方でカセットの頭出しをするには

例えばカラオケなどで，演奏中にも別の人の曲を探し出しておくことができます．
●デッキⅠが再生しているとします．

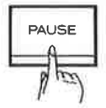
1 デッキⅡに再生用カセットを装着します．



2 “CPS”または“CDS”で指定する曲を探します．（8ページCPS，CDS参照）

指定曲をサーチすると一時停止で待機します．
＊プログラム演奏をセットすることもできます．

3 〔PAUSE〕ボタンを押して一時停止を解除します．



デッキⅠの再生が止まり，デッキⅡがサーチした曲の再生を始めます．

＊“ブランクスキャン”がONになっている場合でも，デッキⅡがサーチ中はデッキⅠの“ブランクスキャン”は働きません．

クイック・リバースについて

録音または再生中にリーダーテープ部分になるとTEAC独自のI.R.(赤外線)コンビネーション・テープセンサーが即座に働き，A.R.H.S.(アキュライン・ローテイティング・ヘッド・システム)と相まって，ほとんどとぎれの無い録音再生を続けることができます．
次のような場合はクィック・リバースせず，テープをすべて巻き取ってから反転します．

- ●リーダーテープ部に近い，約15秒以内から録音または再生を始めたとき．
- ●プログラム演奏をしているとき．
- ●“イントロチェック”による再生時．

次のような場合はクイック・リバースをしてしまうことがあります．

- ●テープにキズやひどい折れ目，磁性体のむらなどがあるとき．
- ●ヘッドの近くに強い光(スポットライトなど)が当たったとき．

ご注意

プログラム演奏，CPS，CDS，イントロチェック等の各モードにおける指定曲は，曲間のブランクによってサーチされますので，次のようなカセットは正しい動作にならないことがあります．

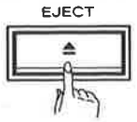
- ●曲間のブランクが4秒以下であったり，ブランク中に大きな雑音が入っている．
- ●ピアニシモのように非常に小さい部分が数秒間続いている．(曲の途中で再生が始まったり，早送りされたりすることがあります．)

■通常の録音

●デッキⅠ，Ⅱどちらでも同じ操作ができます．

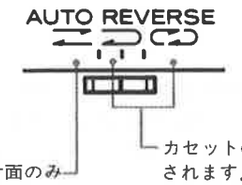
1 〔POWER〕スイッチを押して電源を入れます．

2 カセットを装着します．



開いたカセットホルダーにカセットを入れ，ホルダーをきちんと閉めます．(リーダーテープ部は送っておくこと)

3 テープ走行モードを選びます．



カセットの片面のみ録音されます．

カセットの両面が録音されます．
(リバース録音で停止)

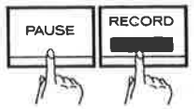
4 NRシステムを選びます．

□□B：ドルビーB NRシステムが働きます．
□□C：ドルビーC NRシステムが働きます．
dbx　：dbx NRシステムが働きます．
OUT：NRシステムが働きません．

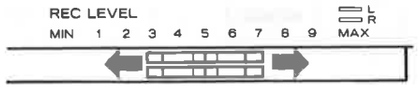
録音するソースの演奏を始めます

5 録音レベルを調節します．

①〔PAUSE〕→〔RECORD〕の順にボタンを押す（録音待機状態）．

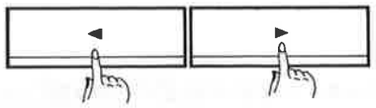


②ピークレベルメーターを見ながら〔REC LEVEL〕つまみでL・Rチャンネルそれぞれの録音レベルを調節する．



“上手な録音レベル調節のために”参照

6 録音を始めるカセット面を選びます．



カセットのB面から録音する場合
(リバース録音)

カセットのA面から録音する場合
(フォワード録音)

＊ディレクション・ランプの方向へ録音が始まります．

7 〔PAUSE〕ボタンを押します．

録音待機状態が解除され録音が始まります．

録音を止めるには——

〔STOP〕ボタンを押します．

録音を一時停止するには——

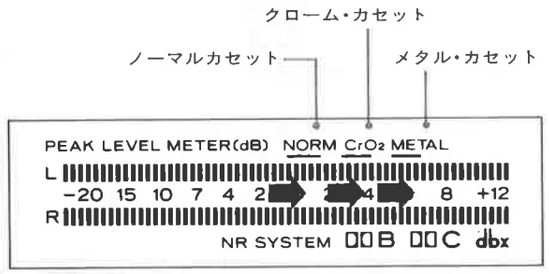
録音中に〔PAUSE〕ボタンを押します．もう一度〔PAUSE〕ボタンを押すと再び録音が始まります．

録音を急ぐ場合は——

停止中に〔RECORD〕ボタンを押すと，テープ走行と同時に録音が始まります．

上手な録音レベル調節のために

録音レベルを最適にすることで，雑音やひずみの少ない，上手な録音を行うことができます．
録音レベルが低すぎると再生時にノイズが耳ざわりになり，逆に高すぎるレベルではひずんだ音になってしまいます．
本機のピークレベルメーター上には各カセットごとの録音レベル調節範囲が示されています．ソース信号が最大音量の時にピークレベルメーター指示が“調節範囲”となるよう〔REC LEVEL〕つまみを調節します．



■消去

録音が行われると，以前テープに録音されていた内容は自動的に消去ヘッドで消され，録音ヘッドで新しい内容が録音されますので，消去操作を特に行う必要はありません．消去だけをしたいという場合には，〔REC LEVEL〕つまみを〔MIN〕まで下げて録音を行います．
短時間に消去をしたい場合は，別売のTEAC E-2Aバルク・イレーサーをご使用ください．(ただし，メタル・テープを除きます．)

E-2Aバルク・イレーサー

■曲間にブランクを入れるには ―録音ミューティング―

録音中，約4秒間のブランクを入れながら曲を録音することができます．4秒間のブランクはCPS等を確実に働かせることができます．

1 録音中に曲の終りなどで〔REC MUTE〕ボタンを押します．

約4秒間の無信号録音後，一時停止状態になります．（RECORDランプ点滅→点灯）

2 次の曲の始まりと同時に〔PAUSE〕ボンを押します．

再び録音が始まります．

録音ミューティングを録音に戻すには―

録音ミューティング中に再び〔REC MUTE〕ボタンを押します．テープ走行を続けたまま録音に復帰します．

録音ミューティングを4秒以上続けるには―

〔REC MUTE〕ボタンを押したらそのまま押し続けます．4秒過ぎてから指を離すとその間が無信号録音になります．

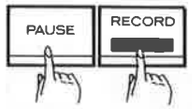
録音開始時に録音ミューティングするには―

録音一時停止状態のときに〔REC MUTE〕ボタンを押し，〔PAUSE〕ボタンを押します．録音開始と同時に無信号録音になり，約4秒後に一時停止状態となります．

■デッキI，IIを同時に録音するには ―同時録音―

●デッキⅠ，IIの両方へカセットを装着します．
●〔AUTO REVERSE〕スイッチでテープ走行モードの「⇄」または「⇉」を選びます．
●〔NR SYSTEM〕スイッチでNRシステムを選びます．

1 デッキI，IIの両方を録音一時停止にします．



＊デッキⅠ，II両方を操作します．

2 録音レベルを調節します．

（通常の録音“5”参照）
＊デッキⅠ，IIは同じ録音レベルになります．

3 デッキI，IIそれぞれの〔PAUSE〕ボタンを押します．

録音待機状態が解除され，ディレクション・ランプの方向へ共に録音を始めます．

録音を止めるには――

止めたいデッキ側の〔STOP〕ボタンを押します．

■デッキⅠ→デッキIIへ続けて録音するには ―コンティニアス録音―

●デッキⅠ，IIの両方へカセットを装着します．
●〔NR SYSTEM〕スイッチでNRシステムを選びます．

1 〔AUTO REVERSE〕スイッチを“⇄”位置にします．

2 録音レベルを調節します．

（通常の録音“5”参照）
＊デッキⅠを録音待機状態にして行います．

3 デッキⅠを，録音を始めるカセット面を選びます．

（通常の録音“6”参照）
＊デッキIIは停止状態のこと．

4 デッキⅠの〔PAUSE〕ボタンを押します．

デッキⅠの録音が始まり録音を終了後，デッキIIの録音に切り換わります．
＊デッキIIはA面から録音を始めます．

録音を止めるには

今作動している側の〔STOP〕ボタンを押します．

録音の順序		
デッキ / インジケーター	デッキⅠ	デッキII
▶	A面→B面	→A面→B面
◀	B面	→A面→B面

■“CDチェック”について

〔CD CHECK〕キーを押すとモニター状態になり（ピークレベルメーターの感度12dB上昇），CDプレーヤーを“早送り再生”させて録音レベルを調整することができます．

①停止中に〔CD CHECK〕ボタンを押します．

表示窓

②CDプレーヤーの演奏を開始し，早送りにします（早送り再生）．

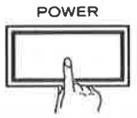
③〔REC LEVEL〕つまみで録音レベルを調節します．（通常の録音“5”参照）

④〔STOP〕ボタンなどを押すと“CDチェック”は解除します．

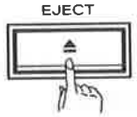
＊CDレベル・チェックによる録音レベルは，CDプレーヤーが“早送り再生”状態でのみ正しく調節できますので，普通の再生状態では行わないでください．
＊CDレベル・チェックは本機が停止状態のときに操作できます．
＊CDプレーヤーの一部には，“早送り再生”状態で正しい録音レベルにならないものもあります．

ダビング(デッキI再生→デッキII録音)

1 〔POWER〕スイッチを押して電源を入れます.



2 デッキIに再生用，デッキIIに録音用カセットを装着します.



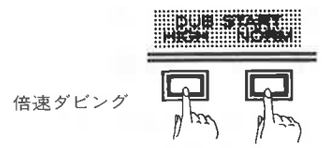
＊リーダーテープ部は送っておいてください.

3 〔AUTO REVERSE〕スイッチをセットします.(右表参照)

4 ディレクション・ランプの方向を決め，停止状態にします.(右表参照)

＊ディレクション・ランプの方向へダビングが始まります.

5 〔DUB START〕ボタンを押します.



ダビングが始まります.

ダビングを止めるには

デッキIIの〔STOP〕ボタンを押します(倍速ダビング時はデッキIでも停止).
定速ダビング中にデッキIの〔STOP〕ボタンを押すと，デッキIは停止，デッキIIは4秒間の無信号録音後に一時停止します.(“最下表”参照)

〔AUTO REVERSE〕スイッチとディレクション・ランプ方向による録音

デッキ / (AUTO REVERSE) / ディレクション・ランプ	デッキI ◀	デッキI ▶	デッキII ◀	デッキII ▶
⇄	B面	A面	B面	A面
⇀	B面	A面→B面	B面	A面→B面
↻	デッキIIが止まるまで再生を続行		B面	A面→B面

● ⇄および⇀では，デッキI・IIの一方がテープエンドで止まると同時にもう一方も止まります.

＊録音レベルは固定となりますので，録音レベルのセットは不用です.
＊ダビングして作られるカセットのNRシステムは，〔NR SYSTEM〕スイッチに関係なく，再生側カセットと同様になります.(〔NR SYSTEM〕スイッチはモニター音にのみ影響します.)

ダビング中のテープ走行操作(定速ダビング)

操作ボタン \ デッキ	デッキI	デッキII
〔◀◀ ▶▶〕	早送り／巻戻し →	4秒間の無信号録音後一時停止 受付けない
〔◀〕〔▶〕	方向転換	方向転換
〔PAUSE〕	一時停止 →	4秒間の無信号録音後一時停止
	再生続行 ←	一時停止
〔STOP〕	停止 →	4秒間の無信号録音後一時停止
	停止 ←	停止

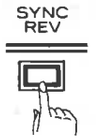
□：操作デッキ

■カセットB面のダビング開始を一致させるには —シンクロ・リバース・ダビング—

従来ダビングを行った場合，双方同じカセットを用いてもテープ誤差・走行誤差等によって片面の終了に差が生じ，B面のダビングが同時に始まりませんでした．これを解消しB面のダビングを同時にするのが“シンクロ・リバース・ダビング”です.

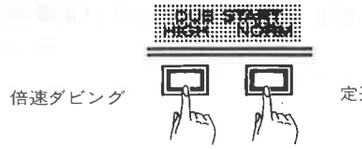
＊表示窓のカウンター部はテープ・カウンター・モードのこと.
＊〔AUTO REVERSE〕スイッチは“⇀”又は“↻”位置のこと.
＊デッキI，IIのディレクション・ランプは共に“▶”方向のこと.

1 〔SYNC REV〕ボタンを押します.



(表示窓の“SYNC REV”点灯)

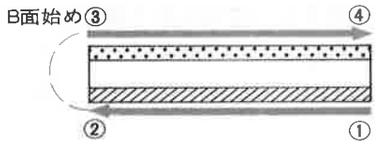
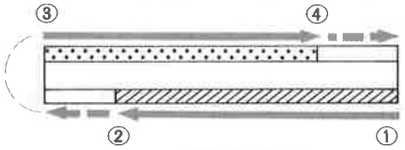
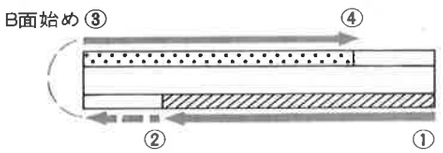
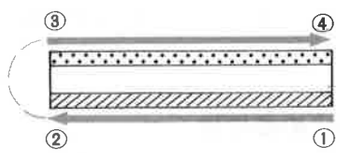
2 〔DUB START〕ボタンを押します.



ダビングが始まります.

ダビングを止めるには

〔STOP〕ボタンを押します.

テープ走行		
	デッキI	デッキII
I＜II (デッキIのカセットがデッキIIのカセットより短くなる場合)		
①	A面の再生開始	A面の録音を開始
②	IIデッキが録音を終了するまで停止	残りの部分を無信号録音
	B面の再生を開始	B面の録音を開始
④	再生を終了して停止	残りの部分を無信号録音
I＞II (デッキIのカセットがデッキIIのカセットより長くなる場合)		
①	A面の再生を開始	A面の録音を開始
②	残りの部分を無音再生	Iデッキが再生を終了するまで待機
	B面の再生を開始	B面の録音を開始
④	停止	停止

＊デッキI・II双方の長さが異なるカセットを使用の場合は“空白部分”が多くなりますので，カセットはそれぞれ長さの同じものをご使用ください.

■希望する曲をあらかじめプログラムしてダビングするには
―プログラム・ダビング―

デッキⅠのカセットを19曲目までの19曲まで，好きな順にダビングできます．
●曲番はカセットA面の最初の曲を“1”に数えます．

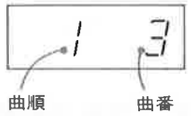
1 希望する曲をダビングしたい順にプログラムします．(曲番がわかっている場合)

表示窓

①〔MEMO/CHECK〕ボタン押す．

↓

②〔PGM〕ボタン押す．



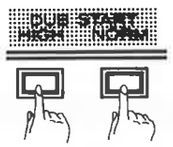
↓

③〔MEMO/CHECK〕ボタン押す．

②→③を繰り返し希望する曲を順次メモリーします．

＊“プログラム演奏”(6ページ)参照

2 〔DUB START〕ボタンを押します．



デッキⅠはテープがA面の最初まで巻戻り“曲番1”をサーチ後，ダビングを始めます．
デッキⅠがサーチ中は，デッキⅡは録音待機しています．

ダビングを止めるには

〔STOP〕ボタンまたは〔RESET〕ボタンを押します．

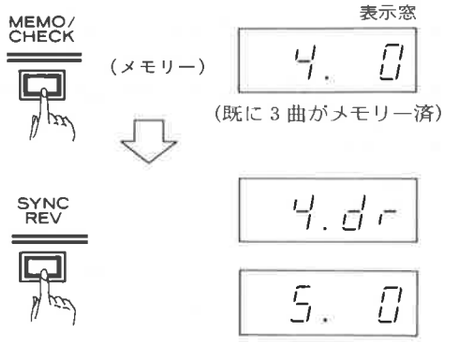
＊ダビング中のテープ走行操作ボタンは，〔STOP〕ボタンを除いて働かなくなります．

“dr”操作について

ダビングする曲をプログラムする際，メモリー中またはメモリー後のチェックのとき〔SYNC REV〕ボタンを押すと“dr”操作となり，“dr”以降の曲はカセットのB面にダビングされます．

メモリー中に行う場合

①曲をメモリーしたあと，〔SYNC REV〕ボタンを押します．



②〔PGM〕，〔MEMO／CHECK〕ボタンで再び曲の選択・メモリーを続けます．

メモリー後のチェック中に行う場合 (“dr”の挿入)

例. ■■■■■とプログラムされていて，■の次に挿入するには――

①〔MEMO／CHECK〕ボタンで曲番■を表示窓に表示します．

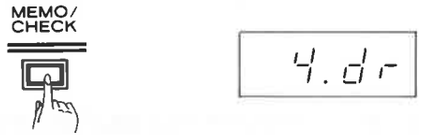
②〔SYNC REV〕ボタンを押します．

＊プログラムされている曲番の曲順が繰り下がって表示されます．

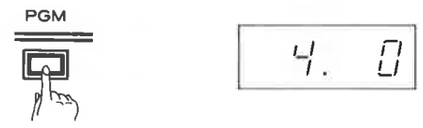
“dr”の削除

例. ■■■■■■とプログラムされている場合．

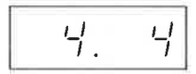
①〔MEMO／CHECK〕ボタンで“dr”を表示窓に表示させます．



②〔PGM〕ボタンを押します．

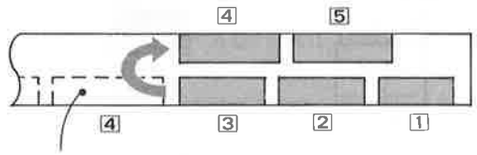


③〔MEMO／CHECK〕ボタンを押します．



＊プログラムされている曲番の曲順が繰り上がって表示されます．

“dr”操作によるダビング



曲　順	1	2	3	4	5	6
プログラム曲	■	■	■	■	■	
“dr” 挿入	■	■	■	dr	■	■
“dr” 削除	■	■	■	■	■	

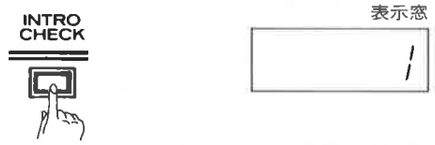
“dr”操作をしても次のような場合は通常のダビングになります．
●〔AUTO REVERSE〕スイッチが ⇄
●デッキⅡの録音開始が ◀ 方向．
●“dr”表示になる前にデッキⅡが反転．

＊“dr”は1ヶ所にのみ入れることができます．
＊“dr”を入れた場合のプログラムでは，これ以降の曲順が1つずつ繰り下がるため，最高18曲までのメモリーとなります．

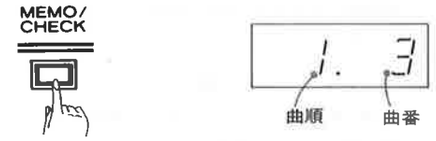
イントロチェックとプログラム

カセットの内容や曲番がわからない――このようなカセットをプログラム演奏またはプログラム・ダビングする場合，イントロチェックを利用すると短時間に曲の内容を知ることができ，選曲およびメモリーを容易に行えます．
●再生用カセットは巻始めまですべてテープが戻されていること．

①〔INTRO CHECK〕ボタンを押します．



②希望の曲で〔MEMO／CHECK〕ボタンを押します．

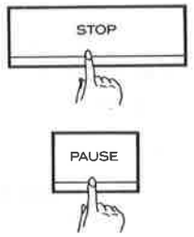


以後，希望曲のたびに②の操作をすることにより最高19曲までプログラムできます．

③〔STOP〕ボタンを押してイントロチェックを止めます．

■希望する曲を選びながらダビングするには（定速ダビング）

1 ダビング中にデッキⅠ側の〔STOP〕または〔PAUSE〕ボタンを押します.



デッキⅠは停止または一時停止し，デッキⅡが約4秒間の録音ミューティング後に一時停止.
（表示窓の"NORM"点滅）

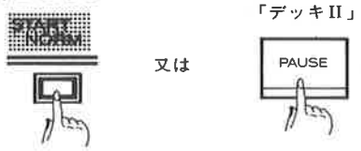
2 次に録音したい曲をデッキⅠで選びます.

A．CPSによる選曲（📖8ページ）
〔PGM〕ボタンで曲番を指定し，〔◀◀ ▶▶〕ボタンを押す.

B．CDSによる選曲（📖8ページ）
〔◀◀ ▶▶〕ボタンで早送り／巻戻し中に，〔PGM〕ボタンで曲番を指定.

＊選んだ曲は頭出しをして止めます.

3 〔DUB START〕の"NORM"ボタンまたはデッキⅡの〔PAUSE〕ボタンを押します.



（表示窓の"NORM"点灯）

選んだ曲のダビングが始まります.

1～3の操作を繰り返すことで，選曲しながらダビングができます.
また，1と3の操作によって，曲間に4秒間のブランクを入れながらダビングすることもできます.

■CMなどをカットして,ブランクを入れながらダビングするには（定速ダビング）

再生用カセットの曲の最後にCMなどが続いている場合にこれをカットし，4秒間のブランクを入れながらダビングすることができます.

1 ダビング中に〔REC MUTE〕ボタンを押します.

（表示窓の"NORM"点滅，デッキⅡの"RECORD"インジケーター点滅→点灯）

デッキⅡは4秒間の無信号録音後に一時停止しますが，デッキⅠは再生を続けていますので再生音が聞けます.

2 CMが終り次の曲が始まるとき，デッキⅡの〔PAUSE〕ボタン，または〔DUB START〕の"NORM"ボタンを押します.

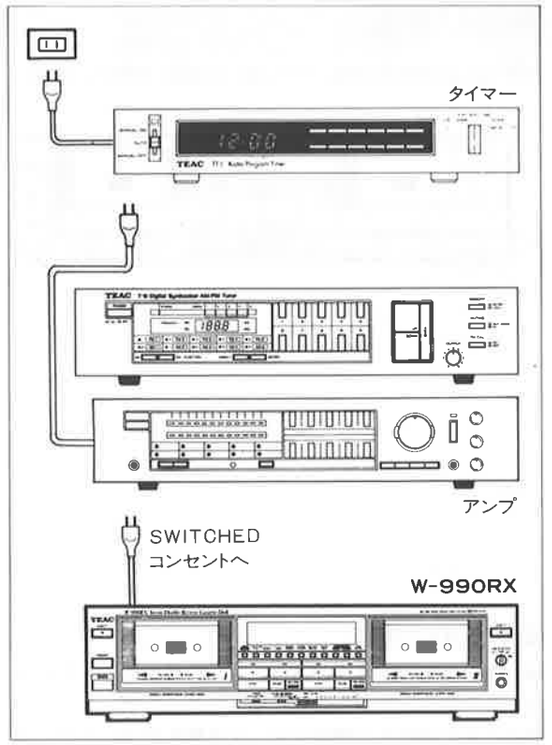
「デッキⅡ」

又は

（表示窓の"NORM"点灯）

デッキⅡの録音が再び始まります.

タイマー録音・再生

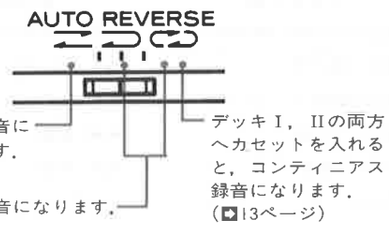


■タイマー録音

別売りのタイマーを使うことにより，就寝後の録音，モーニングコールなど……希望の時刻に録音または再生を始めることができます.

●デッキⅠまたはデッキⅡへカセットを装着し，ディレクション・ランプの方向を決めます.
●〔NR SYSTEM〕スイッチでNRシステムを選びます.
●録音レベルをセットします.（📖11ページ）

1 〔AUTO REVERSE〕スイッチをセットします.



2 タイマーを希望の時刻にセットします.

各機器への電源が切れます.

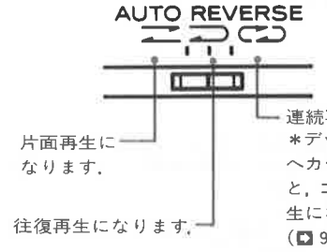
3 〔TIMER〕スイッチを"REC"にします.

＊〔POWER〕スイッチはOFFにしないこと.

■タイマー再生

●デッキⅠまたはデッキⅡへカセットを装着し，ディレクション・ランプの方向を決めます.
●〔NR SYSTEM〕スイッチでNRシステムを選びます.

1 〔AUTO REVERSE〕スイッチをセットします.



2 タイマーを希望の時刻にセットします.

各機器への電源が切れます.

3 〔TIMER〕スイッチを"PLAY"にします.

＊〔POWER〕スイッチはOFFにしないこと.

指定の時刻になって電源が入ると，約2秒後に録音／再生が始まります.

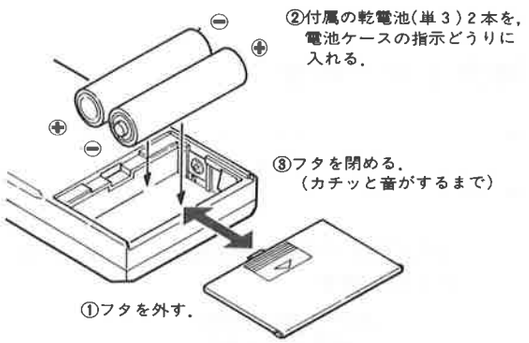
＊タイマー録音・再生を終了後は，必ず〔TIMER〕スイッチを「OUT」に戻してください.
＊タイマー録音・再生はディレクション・ランプの方向へ始まりますので，カセット装着時には必ず"方向"を確認してください.
コンティニアス録音・再生の場合は，デッキⅠはディレクション・ランプの方向から始まり，デッキⅡは ► 方向から始まります.

リモコン(RC-306)について

付属のリモコン(RC-306)は，離れた所からでもリモコン上の各ボタンで本機を操作することができます．

■電池について

リモコンへの装着



電池の交換時期は…
リモコンでの操作可能範囲が狭くなったリ，リモコンの操作キーを押しても本機が動かない場合は，電池が消耗しています．新しい電池に２本とも交換してください．

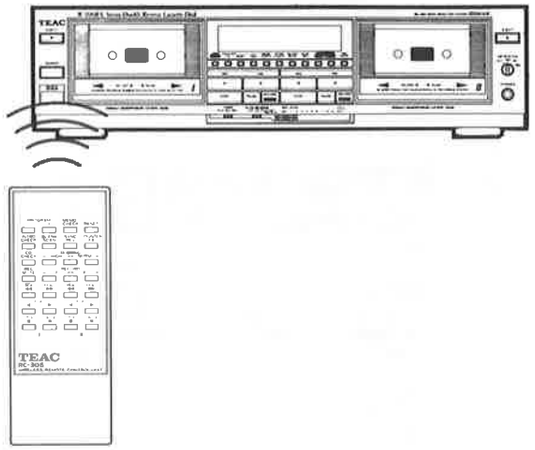
電池についてのご注意
乾電池を誤って使用すると，液漏れや破裂などの危険があります．次の点について，特にご注意ください．

1．乾電池の⊕と⊖の向きを，電池ケースの指示どうりに正しく入れてください．
2．新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください．
3．乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります．種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください．
4．電池には充電式と充電式でないものがあります．電池の注意表示をよく見てご使用ください．

リモコンによる操作は，本体側と同じ名称／マークのボタン（下表参照）で同じ操作をすることができます．

■使いかた

リモコンの前面を本機（受光窓）に向けて操作します．



使用上のご注意

●本機との間に障害物があったリ，本機前面との角度が悪いとリモコン操作できない場合があります．
●赤外線を発射する機器の近くで本機を使用したリ，赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したリすると，本機は誤動作することがあります．逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時に本機のリモコンを操作すると，その機器を誤動作させることがあります．
●リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください．
●長い間(１か月以上)リモコンを使用しないときは，電池の液もれを防ぐために電池を取出してください．もし液もれを起こしたときは，ケース内に付いた液をよく拭取ってから新しい電池を入れてください．

リモコンと本機，各ボタンの比較

リモコン側	本体側	リモコン側	本体側
PROGRAM ＋－(※1)	PGM	DUB START-NORM(※3)	DUB START-NORM
MEMO／CHECK	MEMO／CHECK	REC MUTE	REC MUTE
RESET	RESET	RECORD Ⅰ／Ⅱ(※4)	RECORD
INTRO CHECK	INTRO CHECK	REW ◀◀	◀◀ ▶▶
BLANK SCAN	BLANK SCAN	F.FWD ▶▶	◀◀ ▶▶
SYNC REV	SYNC REV	PLAY ◀	◀
COUNTER Ⅰ／Ⅱ	COUNTER Ⅰ／Ⅱ	PLAY ▶	▶
CD CHECK	CD CHECK	STOP ■	STOP
DUB START-HIGH(※2)	DUB START-HIGH	PAUSE Ⅱ	PAUSE

※１ 〔+〕：┌1→19┐ 〔－〕：┌1←19┐
※２ ２つのボタンを押す．
※３ ２つのボタンを押す．
※４ 〔RECORD〕ボタンと一緒に押す．

おや！ 故障かな？

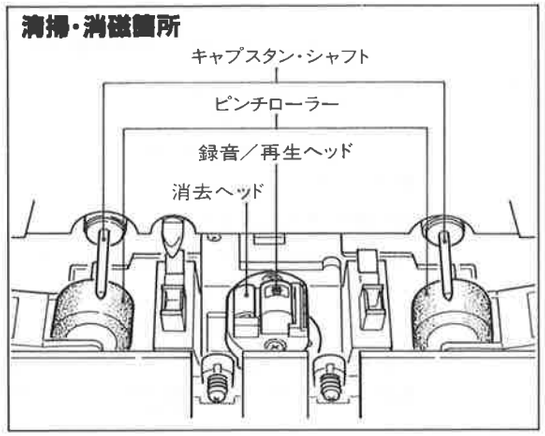
(ちょっと待ってください，サービスをご依頼になる前にもう一度チェックしてください．案外簡単な操作ミスやカン違いであることが多く，ちょっとした手入れで直ることがあります．)

症　状	原　因	処　置
テープ走行		
電源スイッチを押しても電源が入らない	電源コード(プラグ)の差し込みが不完全	電源コード(プラグ)を差し込む
電源を入れるとテープが走リ出す	〔TIMER〕スイッチが〔PLAY〕または〔REC〕になっている	〔TIMER〕スイッチを〔OUT〕に戻す
テープ再生		
往復再生にならない	〔AUTO REVERSE〕スイッチが「⇄」になっている	同スイッチを「⇉」または「⇆」にする
コンティニアス再生しない	双方にカセットが入っていない	Ⅰデッキ・Ⅱデッキへカセットを装着する
	〔AUTO REVERSE〕スイッチが「⇆」になっていない	同スイッチを「⇆」にする
音が出ない	システムとの接続が悪い(誤配線等)	システムとの接続をもう一度確認してみる
音質が悪い	ヘッドが汚れている	TZ-261のA液で清掃する
	NRシステムが合っていない	〔NR SYSTEM〕スイッチを録音時のNRシステムに合わせる
	ヘッドが帯磁している	ヘッド・イレーサーで消磁する
ハム・ノイズが出る	ハム発生源(トランスなど)に近い	ハム発生源から遠ざける 電源プラグを差し換えて極性をかえてみる
再生ボタンを押しても再生しない	〔PAUSE〕ボタンが押されて一時停止モードになっている	もう一度〔PAUSE〕ボタンを押す
テープ録音		
録音しない	カセットの“誤消去防止ツメ”が折れている	“ツメ”跡にセロハン・テープなどをはる
	入力コードのはずれ，コード不良	接続をもう一度確認してみる 入力コードを交換してみる
	録音レベルが低い	〔REC LEVEL〕つまみを〔MAX〕方向へ上げる
	ヘッドが汚れている	TZ-261のA液で清掃する
往復録音にならない	〔AUTO REVERSE〕スイッチが「⇄」になっている	同スイッチを「⇉」または「⇆」にする
コンティニアス録音しない	双方にカセットが入っていない	Ⅰデッキ・Ⅱデッキへカセットを装着する
	〔AUTO REVERSE〕スイッチが「⇆」になっていない	同スイッチを「⇆」にする

簡単なお手入れ

■清掃

ヘッドに磁性粉などのゴミが付着すると録音特性が悪化したり再生時には音飛び・濁りなどの原因になります．できれば使用のたびに，クリーニング液を綿棒に含ませてヘッドを清掃してください．なお，ピンチローラーなどのテープ走行部の汚れは，テープの巻き込みなどを引き起すことがあります．ヘッドと一緒に清掃を行なってください．（図参照）



注．ヘッドのクリーニング液が乾くまで，録音／再生は行わないでください．

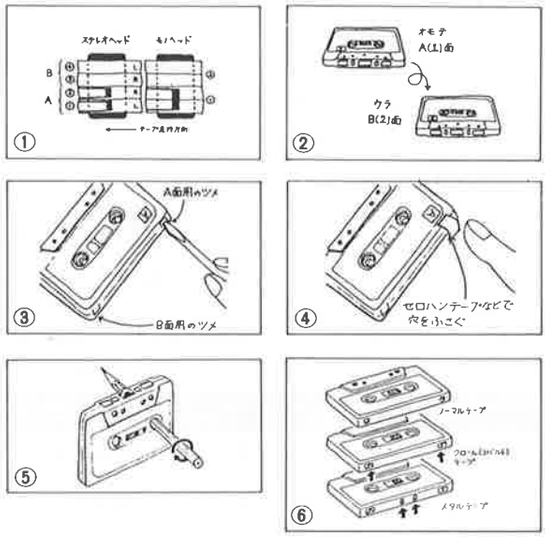
■消磁

ヘッドは汚ればかりか磁気を帯びることがあります．磁化されたヘッドは，やはり録音／再生に悪影響を及ぼします．50時間に1回程度，ヘッド・イレーサー（E-3別売）を使用して消磁してください．
ヘッドの消磁は，本機の電源を切り，電源を入れたヘッド・イレーサーをヘッドに近づけ，表面を数回するようにして除々にヘッドから遠ざけます．

E-3ヘッド・イレーサー

カセットテープについて

①ステレオとモノラルが共用できるように，トラック方式が定められています．
②A・B両面に録音／再生ができます．
③④大切な録音内容を消さないように誤消去防止ツメがあり，ツメを折ると録音ができなくなります．再び録音を行なうには，穴をセロハン・テープなどでふさぎます．（クローム検出孔をふさがないように）
⑤テープのたるみは"巻込み"などの原因になります．鉛筆などでたるみを巻き取ってからご使用ください．
⑥カセット・ハーフにはテープ検出孔が付いています．オート・テープ・セレクター機では，テープの種類が自動検出されます．



仕様

トラック形式	4トラック2チャンネル・ステレオホニック方式
ヘッド構成	録音／再生ヘッド×1，消去ヘッド(ロータリー式，デッキI／II)
使用テープ	C-60，C-90タイプ カセット・テープ
テープ速度	4.8センチ，9.5センチ(倍速ダビング時)
モーター	〈デッキI／II〉 キャプスタン：DC サーボモーター×1 リ　ー　ル：DC モーター×1 メカニズム：DC モーター×1
ワウ・フラッター	0.05%(W. RMS)，±0.1%(W. Peak EIAJ)
周波数特性（総合）	25Hz～20,000Hz(30Hz～19,000Hz±3dB，EIAJ)：メタル 25Hz～20,000Hz(30Hz～18,000Hz±3dB，EIAJ)：クローム 25Hz～19,000Hz(30Hz～17,000Hz±3dB，EIAJ)：ノーマル
総合SN比	59dB(NR OUT，3% THDレベル，WTD) 69dB(ドルビーB NR IN 5kHz以上) 78dB(ドルビーC NR IN 1kHz以上) 91dB(dbx NR IN 1kHz)
ダイナミックレンジ	110dB(dbx NR IN 1kHz ピーク・レベル，メタルテープ)
早巻時間	C-60テープで約100秒
入力	ライン：60mV(入力インピーダンス50kΩ)
出力	ライン：0.3V(負荷インピーダンス50kΩ以上) ヘッドホン：8Ω
電源	100V AC，50/60Hz
消費電力	23W
外形寸法	435(幅)×112(高さ)×290(奥行)mm(突起部含む)
重量	5.8kg
付属品	入出力コード 2本(1組)，ワイヤレス・リモコン〈RC-306〉，乾電池(単3)×2

※この仕様は特に表示した項目を除き，当社基準テープを使用して測定したものです．
※仕様および外観は，改善のため予告なく変更することがあります．

アフターサービスについて

1．この製品には保証書を別途添付しております．保証書は，販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので，記載内容をご確認の上で取扱説明書などと一緒に大切に保存してください．
2．保証期間はお買上げ日より1年です．保証期間中は，保証書の記載内容により，当社サービス機関が修理いたします．その他詳細につきましては保証書をご参照ください．
3．保証期間経過後，または保証書を提示されない場合の修理などについてご不明の場合は，お買上げの販売店，もよりの当社営業所，サービス・センター，またはサービス1課にご相談ください．
保証期間経過後，修理によって機能が維持できる場合は，お客様のご要望により有料修理いたします．
なお，営業所などの所在地および電話番号は，住所欄に記載してあります．
4．この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は製造打切り後6年です．この期間は通商産業省の指導によるものです．